

Ⅲ 評価結果総括及び実施状況

〈重点事業 実施状況報告書の見方〉

基本目標番号 基本目標名		第5次男女共同参画推進プラン(令和4年度～令和8年度)における ・基本目標番号 ・基本目標名 ・主要課題番号 ・主要課題名 を記載しています。			
主要課題番号 主要課題名					
事業番号	事業名	・事業番号 ・事業名 ・所管課名 ・事業概要 を記載しています。	所管課		
事業概要					
◆令和5年度振り返り-取組実績(DO)					
令和5年度の取組実績					
令和5年度の施策の成果向上に向けた主な取組実績について、第5次調布市男女共同推進プラン(令和4年度～令和8年度)に位置付けた各施策の基本目標ごとに記載しています。					
◆令和5年度振り返り-評価(CHECK)					
指標でみる達成状況					
評価指標		基準値	令和4年度	令和5年度	目標値
第5次調布市男女共同推進プラン(令和4年度～令和8年度)における基本目標を達成するための評価指標,基準値, 令和5年度実績値, 目標値を記載しています。					
基本目標及び主要課題達成に向けての総合評価(取組実績及び評価指標)					
評価		評価理由	<p>【評価基準】 S:「実施した取組において顕著な成果が得られた。」 A:「実施した取組において予定した成果が得られた。」 B:「実施した取組において一定程度の成果が得られた。」 C:「実施した取組において予定した成果が得られなかった。」 D:「実施した取組において成果が得られなかった。」</p> <p>【評価理由】 令和5年度中の取組実績及び令和5年度の評価指標値を踏まえ、評価における理由を記載しています。</p>		
今後の方向性(課題及び取組の方向)(ACTION)					
今後の方向	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小				
今後の取組の方向	令和5年度の取組実績や評価指標値, 事業を取り巻く状況を踏まえ、当該事業の課題や今後の取組の方向及び取組内容を記載しています。				

基本目標 1 人権の尊重と多様性を認め合う社会づくり

男女がお互いの人権を尊重し、だれもが多様性を認め合い、社会のあらゆる分野において対等な立場で、一人ひとりの能力、個性を發揮できる社会の実現を目指します。

■主要課題1 人権と多様性の尊重

市民一人ひとりが個人の能力、環境、個性について偏見をもつことなく、人権の大切さについて理解を深め、だれもが個性と能力を發揮することのできる社会の実現

■主要課題2 配偶者等からの暴力(DV)の根絶

重大な人権課題である配偶者等からの暴力や性犯罪・性暴力等について、地域全体であらゆる暴力の根絶に向けた取組、相談窓口の周知徹底、関係機関と連携した相談ケースに応じたきめ細かな支援

1 基本目標を達成するための評価指標の推移

主要課題	評価指標	基準値 (プラン策定時)	令和 4年度	令和 5年度	目標値	事業番号
1 人権と多様性の尊重	家事・子育て・介護等の家庭内での役割は男女がともに担う必要があると思う市民の割合	70.5%	71.8%	72.9%	75.0%	1
	心身ともに健康だと感じている市民の割合	71.1%	69.8%	74.8%	80.0%	22
2 配偶者等からの暴力(DV)の根絶	男女共同参画推進センターといったDV(ドメスティック・バイオレンス)に関する相談窓口を知っている市民の割合	39.7%	33.1%	34.7%	50.0%	6
						10

2 指標を達成するための重点事業評価

事業番号	重点事業名	担当課	評価
1	人権教育の理解促進	指導室	A
2	固定的な性別役割分担意識の解消に向けた啓発	多様性社会・男女共同参画推進課	A
22	ライフステージに応じた性と生殖に関する情報の提供や講座の実施	多様性社会・男女共同参画推進課	A
		健康推進課	A
		指導室	A
6	配偶者暴力の防止に対する意識の向上	多様性社会・男女共同参画推進課	A
10	被害者の状況に応じた相談事業の実施	市民相談課	A
		子ども家庭課	A
		健康推進課	A

3 令和5年度における基本目標1に関する総括

○主要課題1【人権と多様性の尊重(家庭内での性別役割分担意識)】

基本目標1に関する評価指標のうち「家事・子育て・介護等の家庭内での役割は男女がともに担う必要があると思う市民の割合」は、令和4年度から1.1ポイント上昇しました。令和4年度に所管課が「A(予定した成果が得られた)」と評価のうえ、今後の方向性を「継続」とした主要課題1【人権と多様性の尊重(家庭内での性別役割分担意識)】に係る事業について、令和5年度も円滑に進捗した効果が評価指標の数値に発現していると理解できます。

令和5年度は、教職員の人権意識の醸成〔指導室〕、家事・育児を夫婦間のみタスクとせず地域や仲間などにも目を向けることをテーマとした講演会〔多様性社会・男女共同参画推進課〕などが実施され、いずれの課も「A(予定した成果が得られた)」と評価しました。

引き続き、人権と多様性の尊重の実現に向け、所管課にて取組を推進する必要があります。

○主要課題1【人権と多様性の尊重(リプロダクティブ・ヘルス/ライツ)】

「心身ともに健康だと感じている市民の割合」は、令和4年度から5.0ポイントと大きく上昇しています。主要課題1【人権と多様性の尊重(リプロダクティブ・ヘルス/ライツ)】に係る事業について、令和4年度に2つの所管課が今後の方向性を「拡充」としたうえで、令和5年度に取組の充実を図った結果が、評価指標の数値に発現していると理解できます。

令和5年度について、女性のヘルスケア相談に加え「更年期と上手につきあう」をテーマとしたグループ相談など多岐にわたる相談〔多様性社会・男女共同参画推進課〕、産後の女性の身体の変化について妊婦とそのパートナーで共有を図る「もうすぐママパパ教室」〔健康推進課〕などが実施され、全ての所管課が「A(予定した成果が得られた)」と評価しました。

女性の生涯にわたる健康の問題についての理解を深めるため、引き続き、庁内連携による取組を推進する必要があります。

○主要課題2【配偶者等からの暴力(DV)の根絶】

「男女共同参画推進センターといったDVに関する相談窓口を知っている市民の割合」は、令和4年度から1.6ポイント上昇していますが、基準値と比較するとなお低水準な状況です。令和5年度においては、DV根絶に関する講座や展示等に加え、新たにSNSを活用した相談窓口の周知〔多様性社会・男女共同参画推進課〕、各種相談において暴力が発見された場合における専門機関・専門相談員への適切な連携・引継ぎ〔市民相談課・子ども家庭課・健康推進課〕などが実施され、全ての所管課が「A(予定した成果が得られた)」と評価しました。このことから、評価指標の数値の上昇は改善に向けた取組の成果と言えます。また、相談事業が継続して実施されたことに加え、相談窓口の周知の充実が図られたなか、暴力に関する相談件数が前年度に比べ減少したことから、主要課題解決の一助となっていると考えられる一方、暴力の潜在化がなお懸念されます。引き続き、実際に暴力等を受けた方が悩まずに相談できるよう、所管を越えて相談窓口を案内するなど庁内連携を強化するほか、様々なイベントにおいて周知するなど、市民に対する相談窓口の認知度の向上を図る必要があります。

総合評価	【評価基準】
A	S:「実施した取組において顕著な成果が得られた」 A:「実施した取組において予定した成果が得られた」 B:「実施した取組において一定程度の成果が得られた」 C:「実施した取組において予定した成果が得られなかった」 D:「実施した取組において成果が得られなかった」

基本目標Ⅰ 人権の尊重と多様性を認め合う社会づくり					
主要課題Ⅰ 人権と多様性の尊重					
事業番号	1	事業名	人権教育の理解促進	所管課 指導室	
事業概要	人権教育としての男女平等教育の充実を図るため、日々の教育活動から児童・生徒への人権感覚の醸成を図るとともに、教員が人権意識のある指導を行えるよう、人権教育推進委員会をはじめ、各種研修会において人権意識の向上に資する研修を行います。				
◆令和5年度振返り-取組実績(DO)					
令和5年度を取組実績					
1 教職員の人権意識の醸成 教職員の人権意識の醸成を図るため、各校における人権教育に係る研修の充実を図った。					
◆令和5年度振返り-評価(CHECK)					
指標でみる達成状況					
	評価指標	基準値	令和4年度	令和5年度	目標値
	家事・子育て・介護等の家庭内での役割は男女がともに担う必要があると思う市民の割合	70.5%	71.8%	72.9%	75.0%
基本目標及び主要課題達成に向けての総合評価(取組実績及び評価指標)					
評価	A	評価理由	年間を通じて、校長会や副校長会等において、教職員の人権感覚の醸成について指導することができた。また、学校訪問や各種研修会等により、人権教育に関する現状と課題を周知し、各学校における人権教育・道徳教育・生活指導の充実が図られた。		
▼					
今後の方向性(課題及び取組の方向)(ACTION)					
今後の方向	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小				
今後の取組の方向	自分の大切さとともに、他の人の大切さを認めることのできる児童・生徒の育成を目指し、全教員が人権教育の視点を明確にした指導を充実できるよう、学校訪問や各種研修会・委員会等で指導・助言を行っていく。				

基本目標Ⅰ 人権の尊重と多様性を認め合う社会づくり					
主要課題Ⅰ 人権と多様性の尊重					
事業番号	2	事業名	固定的な性別役割分担意識の解消に向けた啓発	所管課	多様性社会・男女共同参画推進課
事業概要	性別によって役割を分けてきたこれまでの慣習や考え方を見直し、性別にかかわらず一人ひとりが個人として尊重され、家庭においても社会的活動においても個性と能力を発揮していくための情報提供や講座を実施します。				
◆令和5年度振返り-取組実績(DO)					
令和5年度取組実績					
<p>1 中・高校生の保護者・指導者向けの講座「男性家庭科教員と学ぶ、性別役割分担にとらわれない家族とは」を実施し、日常生活における性別役割分担や、自身のジェンダー観を見直し、グループワーク中心の授業スタイルで家族について考える機会を提供した。</p> <p>2 男女共同参画の観点から、家事・育児を夫婦間のみならず、仲間・地域・職場・支援サービスにも目を向けた林田香織氏の講演会「地域や仲間と叶え合う「チームわが家」の創り方」を実施し、自分たちの考える「わが家」の実現のため家族で考える機会を提供した。</p>					
◆令和5年度振返り-評価(CHECK)					
指標でみる達成状況					
評価指標		基準値	令和4年度	令和5年度	目標値
家事・子育て・介護等の家庭内での役割は男女がともに担う必要があると思う市民の割合		70.5%	71.8%	72.9%	75.0%
基本目標及び主要課題達成に向けての総合評価(取組実績及び評価指標)					
評価	A	評価理由	講演会等を通じて、多くの方に人権や性別役割分担意識について考えるきっかけを提供することができた。講演会等の実施に当たっては、無料保育を実施する等、子育て中の市民も参加しやすいよう配慮した。		
今後の方向性(課題及び取組の方向)(ACTION)					
今後の方向	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小				
今後の取組の方向	引き続き、講演会等を実施し意識啓発と情報提供を継続して実施していく。				

基本目標Ⅰ 人権の尊重と多様性を認め合う社会づくり					
主要課題Ⅰ 人権と多様性の尊重					
事業番号	22	事業名	ライフステージに応じた性と生殖に関する情報の提供や講座の実施	所管課 多様性社会・男女共同参画推進課	
事業概要	女性のみならず男性に対しても、女性の生涯にわたる健康の問題についての理解を深める情報提供や相談を実施します。また、思春期・青年期の子どもたちやその保護者を対象に、学校等と連携して、正しい知識や生命の尊さについて理解を深める情報提供・講座等を実施します。				
◆令和5年度振返り-取組実績(DO)					
令和5年度の取組実績					
<p>1 相談事業の実施 女性の心や性・体の悩みなどについて、相談者自身が解決を見出せるよう、医学的知識を有する助産師による女性のヘルスケア相談を実施した。グループ相談ほっとサロンにおいては、「更年期と上手に付き合う」などの相談も実施した。</p> <p>2 男女共同参画視点の情報提供 男女共同参画推進センターの図書・情報コーナーにおいて、男女平等の先行事例に関する書籍等を展示することで、男女共同参画に関する情報の発信・提供に努めた。</p>					
◆令和5年度振返り-評価(CHECK)					
指標でみる達成状況					
評価指標		基準値	令和4年度	令和5年度	目標値
心身ともに健康だと感じている市民の割合		71.1%	69.8%	74.8%	80.0%
基本目標及び主要課題達成に向けての総合評価(取組実績及び評価指標)					
評価	A	評価理由	情報発信に努めたほか、「更年期と上手に付き合う」などのグループ相談も実施した。また、多岐にわたる相談への対応を図った。		
					
今後の方向性(課題及び取組の方向)(ACTION)					
今後の方向	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小				
今後の取組の方向	引き続き、市民ニーズ等も踏まえ、様々な相談事業を継続して実施していく。				

基本目標Ⅰ 人権の尊重と多様性を認め合う社会づくり					
主要課題Ⅰ 人権と多様性の尊重					
事業番号	22	事業名	ライフステージに応じた性と生殖に関する情報の提供や講座の実施	所管課	健康推進課
事業概要	女性のみならず男性に対しても、女性の生涯にわたる健康の問題についての理解を深める情報提供や相談を実施します。また、思春期・青年期の子どもたちやその保護者を対象に、学校等と連携して、正しい知識や生命の尊さについて理解を深める情報提供・講座等を実施します。				
◆令和5年度振返り-取組実績(DO)					
令和5年度取組実績					
1 健康相談:相談を希望する市民に対応 2 情報提供:月1回、「健康なくらしのために」の広報紙発行、エイズや梅毒など性感染症の周知、通年で健康づくり教室、がん検診の啓発を実施した。 3 講話:もうすぐママパパ教室(母親・両親学級)の中で、産後の女性の身体の変化について妊婦とそのパートナーでの共有を図った。 学童クラブの児童を対象に体験型のミニ講話、就学前の幼児とその保護者に対する健康づくりの講話、中学生や小学生を対象に薬物乱用防止の講話、中学生へのがん教育の中で、こころやからだの健康について伝えた。					
◆令和5年度振返り-評価(CHECK)					
指標でみる達成状況					
評価指標		基準値	令和4年度	令和5年度	目標値
心身ともに健康だと感じている市民の割合		71.1%	69.8%	74.8%	80.0%
基本目標及び主要課題達成に向けての総合評価(取組実績及び評価指標)					
評価	A	評価理由	生涯にわたる健康の問題について、理解を深めるために、様々な機会を通じて情報提供、講話を実施した。		
今後の方向性(課題及び取組の方向)(ACTION)					
今後の方向	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小				
今後の取組の方向	引き続き、各教室や相談、講話を通じて、性と生殖に関する正しい知識や生命の尊さについて理解を深めるための情報発信できる場を継続して検討する。				

基本目標Ⅰ 人権の尊重と多様性を認め合う社会づくり					
主要課題Ⅰ 人権と多様性の尊重					
事業番号	22	事業名	ライフステージに応じた性と生殖に関する情報の提供や講座の実施	所管課 指導室	
事業概要	女性のみならず男性に対しても、女性の生涯にわたる健康の問題についての理解を深める情報提供や相談を実施します。また、思春期・青年期の子どもたちやその保護者を対象に、学校等と連携して、正しい知識や生命の尊さについて理解を深める情報提供・講座等を実施します。				
◆令和5年度振り返り-取組実績(DO)					
令和5年度の実績					
<p>学校における性教育について学習指導要領に示された内容を全ての児童・生徒へ確実に指導するとともに、児童・生徒が性に関する正しい知識を身に付け、適切な意思決定や行動選択ができるよう取り組んだ。また、外部講師等を活用した授業を中学校1校で実施した。</p>					
◆令和5年度振り返り-評価(CHECK)					
指標でみる達成状況					
	評価指標	基準値	令和4年度	令和5年度	目標値
	心身ともに健康だと感じている市民の割合	71.1%	69.8%	74.8%	80.0%
基本目標及び主要課題達成に向けての総合評価(取組実績及び評価指標)					
評価	A	評価理由	学校において、全ての教職員で共通認識を図り、性教育の取組の充実に向けて取り組んだため。		
					
今後の方向性(課題及び取組の方向) (ACTION)					
今後の方向	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小				
今後の取組の方向	学校における性教育の充実を図っていくとともに、産婦人科医等の外部講師を活用した授業を実施していく。				

基本目標1 人権の尊重と多様性を認め合う社会づくり					
主要課題2 配偶者等からの暴力(DV)の根絶					
事業番号	6	事業名	配偶者暴力の防止に対する意識の向上	所管課	多様性社会・男女共同参画推進課
事業概要	配偶者暴力は重大な人権侵害であるという認識を社会全体で共有するための講座や講演会等の実施、パンフレット等の配付やホームページ・広報紙を通じて、広報活動・情報提供に取り組みます。また、母子保健事業を通して、男女が協力して育児することの大切さを伝えることにより、配偶者暴力の予防及び防止に向けて取り組みます。				
◆令和5年度振返り-取組実績(DO)					
令和5年度取組実績					
<p>1 パープルリボンプロジェクト in ちょうふの実施</p> <p>(1) パープルリボン着用 女性に対する暴力根絶運動の国際的なシンボルマークである「パープルリボン」の着用について、市職員はもとより、民間事業者にも協力をいただき、「女性に対する暴力の根絶」に向けた市民意識の醸成につなげた。</p> <p>(2) パネル展示 総合福祉センターのウインドウ美術館において、若年層に向けた性暴力被害予防をテーマとする内閣府男女共同参画局のポスターに加え、デートDVに関するメッセージを展示した。また、あくろす3階窓ぎわでパープルリボンのライトアップを実施した。</p> <p>(3) 書籍展示 男女共同参画推進センターの展示ブースに、「DV・性暴力」に関するセンター所蔵書籍を展示した。</p> <p>(4) ワークショップ 暴力のない社会に向けて、一人一人が考える機会となるよう、カードにメッセージを記入し展示中のツリーに飾るワークショップ及び花紙で花を作りリボンの形の下絵の上に貼るワークショップを実施した。</p> <p>2 講座等の実施 配偶者暴力防止及び被害者支援に関する意識啓発に向け、女性への暴力が起きる社会の仕組みをケアの視点から問い直し、非暴力を構想する機会を提供することをテーマとした講座のほか、市内中学3年生を対象としたデートDV出前講座を実施した。また、男女共同参画推進センター通信「しえいくはんず」にて、デートDVをテーマに発行し、関係機関も含めた相談先一覧を掲載した。</p> <p>3 相談事業 男女共同参画推進センターで実施している相談事業の更なる周知を図るため、市報への掲載回数を増やし毎月掲載するとともに、新たにX(旧Twitter)を活用した周知を開始した。 暴力に関する相談件数:令和5年度 486件(令和4年度 527件)</p>					
◆令和5年度振返り-評価(CHECK)					
指標でみる達成状況					
評価指標		基準値	令和4年度	令和5年度	目標値
男女共同参画推進センターといったDV(ドメスティック・バイオレンス)に関する相談窓口を知っている市民の割合		39.7%	33.1%	34.7%	50.0%
基本目標及び主要課題達成に向けての総合評価(取組実績及び評価指標)					
評価	A	評価理由	展示、ワークショップ、講座など様々な手法を用い、市民意識の醸成や意識啓発、市民への情報発信・提供に努めた。また、相談窓口の周知について充実を図った。		
今後の方向性(課題及び取組の方向)(ACTION)					
今後の方向	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小				
今後の取組の方向	配偶者暴力やデートDVの防止に向け、相談窓口の更なる周知、意識啓発の取組を推進していく。				

基本目標1 人権の尊重と多様性を認め合う社会づくり					
主要課題2 配偶者等からの暴力(DV)の根絶					
事業番号	10	事業名	被害者の状況に応じた相談事業の実施	所管課	市民相談課
事業概要	窓口を訪れた被害者の意思を尊重し、被害者の状況に応じた適切な相談として、暴力に関する専門相談員による相談、母子相談等を実施します。				
◆令和5年度振返り-取組実績(DO)					
令和5年度取組実績					
1 専門相談の実施 夫婦や男女間における日常生活のトラブルのうち、暴力に関する相談があった場合は、以下の各専門相談員において適切に対応するよう努めた。 (1) 法律相談(弁護士) (2) 家庭相談(専門相談員) (3) 人権身の上相談(人権擁護委員)					
◆令和5年度振返り-評価(CHECK)					
指標でみる達成状況					
評価指標		基準値	令和4年度	令和5年度	目標値
男女共同参画推進センターといったDV(ドメスティック・バイオレンス)に関する相談窓口を知っている市民の割合		39.7%	33.1%	34.7%	50.0%
基本目標及び主要課題達成に向けての総合評価(取組実績及び評価指標)					
評価	A	評価理由	各種相談事業は、個室で専門相談員との対面式により行っており、プライバシー等には十分配慮している。また、窓口を訪れた相談者の意思や状況に応じた適切な相談を実施した。		
今後の方向性(課題及び取組の方向)(ACTION)					
今後の方向	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小				
今後の取組の方向	専門相談員による適切な助言に基づき、今後も関係機関との連携を図っていく。				

基本目標1 人権の尊重と多様性を認め合う社会づくり					
主要課題2 配偶者等からの暴力(DV)の根絶					
事業番号	10	事業名	被害者の状況に応じた相談事業の実施	所管課	子ども家庭課
事業概要	窓口を訪れた被害者の意思を尊重し、被害者の状況に応じた適切な相談として、暴力に関する専門相談員による相談、母子相談等を実施します。				
◆令和5年度振返り-取組実績(DO)					
令和5年度取組実績					
生活上の困難を抱える母子、または女性が来所した際には、必要な相談や情報提供を行い、専門機関や相談員につないだ。					
◆令和5年度振返り-評価(CHECK)					
指標でみる達成状況					
評価指標	基準値	令和4年度	令和5年度	目標値	
男女共同参画推進センターといったDV(ドメスティック・バイオレンス)に関する相談窓口を知っている市民の割合	39.7%	33.1%	34.7%	50.0%	
基本目標及び主要課題達成に向けての総合評価(取組実績及び評価指標)					
評価	A	評価理由	相談や情報提供を行うことで、相談者に対し安全な環境を提供できた。その後も関係機関と連携し、自立に向けて支援することにより、安定した生活に結び付けることができた。		
今後の方向性(課題及び取組の方向)(ACTION)					
今後の方向	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小				
今後の取組の方向	様々な暴力の相談にも確実に対応できるよう関係機関との連携を強化し、被害者に必要な情報を提供していく。				

基本目標1 人権の尊重と多様性を認め合う社会づくり					
主要課題2 配偶者等からの暴力(DV)の根絶					
事業番号	10	事業名	被害者の状況に応じた相談事業の実施	所管課	健康推進課
事業概要	相談を訪れた被害者の意思を尊重し、被害者の状況に応じた適切な相談として、暴力に関する専門相談員による相談、母子相談等を実施します。				
◆令和5年度振返り-取組実績(DO)					
令和5年度取組実績					
<p>各種健康診査や相談支援(ゆりかご調布面接、家庭訪問、育児相談、健康相談)の場面で配偶者等からの暴力に関する相談があった場合は、相談者の状況を丁寧に聞き取り、相談者の意向に寄り添いながら、必要に応じて専門機関や専門相談員につないだ。</p>					
◆令和5年度振返り-評価(CHECK)					
指標でみる達成状況					
評価指標	基準値	令和4年度	令和5年度	目標値	
男女共同参画推進センターといったDV(ドメスティック・バイオレンス)に関する相談窓口を知っている市民の割合	39.7%	33.1%	34.7%	50.0%	
基本目標及び主要課題達成に向けての総合評価(取組実績及び評価指標)					
評価	A	評価理由	相談対応する際、プライバシーの配慮や安心して相談ができるよう環境を整え、相談者に子がいる場合は、子の発育、健康面の観察をして必要に応じて関係機関と連携を図った。		
今後の方向性(課題及び取組の方向)(ACTION)					
今後の方向	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小				
今後の取組の方向	配偶者等からの暴力に関する相談があった場合に適切に専門相談員の支援につなげられるよう、関係機関と密に連携を図る。				

基本目標2 ワーク・ライフ・バランスの実現と働く場における女性活躍の促進

一人ひとりが自身の希望する形で仕事と家庭・地域生活等の調和を図ることができるよう、男女が互いに協力して家事・子育て・介護を担う意識づくりとともに、多様で柔軟な働き方が選択できる環境づくりを促進します。

■主要課題3 ワーク・ライフ・バランスの実現

だれもが自分らしい生き方を選択し、子育てや介護等の家庭生活や趣味・地域活動など、自身の希望する形で個人の生活と仕事が両立できる社会の実現

■主要課題4 女性の活躍推進

働くことを希望するすべての女性がライフステージに応じて、能力を十分に発揮できるよう、就労に関する情報提供や女性の起業、事業継続の支援

1 基本目標を達成するための評価指標の推移

主要課題	評価指標	基準値 (プラン策定時)	令和 4年度	令和 5年度	目標値	事業番号
3 ワーク・ライフ・バランスの実現	今後も調布に住みたい理由として、調布のまちの魅力や個性・特色が「子育て環境が良い」と感じている市民の割合	11.6%	13.0%	10.4%	20.0%	27
						28
4 女性の活躍推進	労働セミナーや就職面接会など、雇用・就職に向けた取組に対する市民満足度(女性のみ)	63.9%	67.9%	66.0%	70.0%	38
						39

2 指標を達成するための重点事業評価

事業番号	重点事業名	担当課	評価
27	子育て家庭への支援の充実	子ども政策課	A
		児童青少年課	A
		子ども発達センター	A
28	子育てサービスの多様化と充実	子ども政策課	A
		保育課	A
		児童青少年課	A
38	女性の就職、再就職を支援する講座等の実施	多様性社会・男女共同参画推進課	A
		産業振興課	A
		子ども家庭課	A
39	女性の起業・創業への支援	多様性社会・男女共同参画推進課	A
		産業振興課	A

3 令和5年度における基本目標2に関する総括

○主要課題3【ワーク・ライフ・バランスの実現】

評価指標の「今後も調布に住み続けたい理由として、調布のまちの魅力や個性・特色が「子育て環境が良い」と感じている市民の割合」は、令和4年度から 2.6 ポイント低下しました。

令和4年度の評価において、主要課題3に係る重点事業の全ての所管課は、各事業の今後の方向性を「継続」としました。また、各所管課は、今回の報告において、多岐にわたる専門の相談員により子育てに関する悩み・疑問や妊娠期の方からの相談〔子ども政策課・児童青少年課〕、子ども家庭支援センターすこやかににおける一時預かり事業〔子ども政策課〕、多様な保育施設・サービスの提供〔保育課〕などを実施し、いずれも「A(予定した成果が得られた)」と評価しています。

各所管課において既存事業の着実な推進が図られた中、評価指標の数値は低下しています。これについては、市民ニーズが多様化・複雑化してきている可能性があります。また、評価指標の基となる市民意識調査において、回答者の年齢層は、50歳以上が63%を占めており、子育て環境に触れることが少ないと考えられる世代の回答者が多いことから、評価指標の割合が低下することも一定程度許容されると思われれます。一方、「調布に住み続けたい」と回答した30歳代・40歳代のいずれとも、「子育て環境が良い」を選択した方の割合は20%に届いています。

ワーク・ライフ・バランスの実現には、自身の希望する形で個人の生活と仕事が両立できる環境づくりが重要です。家庭生活への支援として、重点事業に位置付けられた子育てはもとより、介護についても、男女が互いに協力して担う意識づくりに向け、取組を継続する必要があります。

○主要課題4【女性の活躍推進】

評価指標の「労働セミナーや就職面接会など、雇用・就職に向けた取組に対する市民満足度(女性のみ)」は、令和4年度から 1.9 ポイント低下しましたが、基準値からは上昇しています。

令和4年度の評価において、主要課題4に係る重点事業の全ての所管課は、各事業の今後の方向性を「継続」としました。また、各所管課は、今回の報告において、相談事業や女性の就労支援に関するセミナー〔多様性社会・男女共同参画推進課〕、子育てしながら働きたい方のためのビジネスマナー・メイクアップ・パソコン研修や面接用スーツの貸出し〔産業振興課〕、先輩経営者が伝える女性のための起業セミナー〔産業振興課及び多様性社会・男女共同参画推進課〕などを実施し、全ての所管課が「A(予定した成果が得られた)」と評価しています。これらから、令和5年度は、既存事業の実施に加え、新たな事業が展開されたところ、参加者の満足度の高さや参加者数の増加から、取組が着実に推進されていると評価できます。一方、評価指標の数値がやや低下したことを考えると、女性が多数を占める非正規労働者と正規労働者との間の待遇差に加え、物価高騰など社会環境の変化の影響を想定する必要があると推察されます。

目標達成に向け、引き続き、出産や子育てによって一時的に離職した女性に対する再就職支援、女性の就労継続を支えるための取組、就労する女性の能力向上に向けた支援等、女性活躍の推進に向けた取組が求められます。

総合評価	【評価基準】
A	S:「実施した取組において顕著な成果が得られた」
	A:「実施した取組において予定した成果が得られた」
	B:「実施した取組において一定程度の成果が得られた」
	C:「実施した取組において予定した成果が得られなかった」
	D:「実施した取組において成果が得られなかった」

基本目標2 ワーク・ライフ・バランスの実現と働く場における女性活躍の促進					
主要課題3 ワーク・ライフ・バランスの実現					
事業番号	27	事業名	子育て家庭への支援の充実	所管課	子ども政策課
事業概要	子ども家庭支援センターすこやかや子ども発達センター、市内各児童館等を拠点として、子育てを行う市民に対し、子育て支援に関する情報を提供します。				
◆令和5年度振返り-取組実績(DO)					
令和5年度の実績					
<p>子育て支援情報誌「元気に育て！！調布っ子」を配布したほか、官民協働で「子育てガイド～妊娠期から子育て期にわたる支援～」の発行を行った。また、多くの子育て支援に関する事業の情報をホームページやSNSで発信した。ひろばでは、乳幼児とその保護者が気軽に集まり、子育てに関する情報交換に加え、健康管理、遊び、ブックスタートなど子育てが楽しくなるような場の提供を行った。また多岐にわたる専門の相談員による、子育てに関する悩み・疑問や妊娠期の方の相談を受けるとともに、エンゼル大学やひろばのお医者さんとして、子育てに関する様々な内容の講座や健康管理等に関する講習会を実施した。</p>					
◆令和5年度振返り-評価(CHECK)					
指標でみる達成状況					
評価指標	基準値	令和4年度	令和5年度	目標値	
今後も調布に住み続けたい理由として、調布のまちの魅力や個性・特色が「子育て環境が良い」と感じている市民の割合	11.6%	13.0%	10.4%	20.0%	
基本目標及び主要課題達成に向けての総合評価(取組実績及び評価指標)					
評価	A	評価理由	<p>ゆりかご調布面接等で妊婦の方を中心に「子育てガイド」を配布し、市の子育て情報の提供に活用することができた。 エンゼル大学では、性教育について等、保護者の要望も取り入れたテーマで講座を開催したところ、参加者からも好評だった。</p>		
今後の方向性(課題及び取組の方向)(ACTION)					
今後の方向	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小				
今後の取組の方向	<p>引き続き、子育てに関する冊子を配布していくとともに、時代のニーズに合ったテーマを工夫しながら情報提供や講座を実施していく。</p>				

基本目標2 ワーク・ライフ・バランスの実現と働く場における女性活躍の促進					
主要課題3 ワーク・ライフ・バランスの実現					
事業番号	27	事業名	子育て家庭への支援の充実	所管課	児童青少年課
事業概要	子ども家庭支援センターすこやかや子ども発達センター、市内各児童館等を拠点として、子育てを行う市民に対し、子育て支援に関する情報を提供します。				
◆令和5年度振返り-取組実績(DO)					
令和5年度の実績					
<p>児童館における子育てひろばでは、乳幼児とその保護者が気軽に集まり、子育てに関する情報交換に加え、健康管理、遊びなどを楽しく身につけ、子どもの健やかな成長を育む場の提供を行った。</p> <p>また、専門の相談員による、子育てに関する悩み・疑問や妊娠期の方の相談を受けるとともに、月に一度、助産師による子育て相談、乳幼児の身体測定や、健康管理等に関する専門家の講演会や講習会を実施した。</p> <p>このほかにも必要に応じて、子ども家庭支援センターすこやかや子ども発達センターと連携し、子育て支援に関する情報提供を行った。</p>					
◆令和5年度振返り-評価(CHECK)					
指標でみる達成状況					
評価指標	基準値	令和4年度	令和5年度	目標値	
今後も調布に住み続けたい理由として、調布のまちの魅力や個性・特色が「子育て環境が良い」と感じている市民の割合	11.6%	13.0%	10.4%	20.0%	
基本目標及び主要課題達成に向けての総合評価(取組実績及び評価指標)					
評価	A	評価理由	子育てひろば事業において、子育て中の保護者及びこれから子育てを始める保護者を支援するため、居場所の提供や相談の受付、講演会や講習会を開催し、多岐にわたる支援を行うことができた。また、子ども家庭支援センターすこやかや子ども発達センターと連携し、情報提供も行うことができた。		
今後の方向性(課題及び取組の方向)(ACTION)					
今後の方向	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小				
今後の取組の方向	引き続き、利用者に寄り添った居場所とするため、関係機関と連携し、利用者のニーズに沿った、質の高いサービスを提供する。				

基本目標2 ワーク・ライフ・バランスの実現と働く場における女性活躍の促進					
主要課題3 ワーク・ライフ・バランスの実現					
事業番号	27	事業名	子育て家庭への支援の充実	所管課	子ども発達センター
事業概要	子ども家庭支援センターすこやかや子ども発達センター、市内各児童館等を拠点として、子育てを行う市民に対し、子育て支援に関する情報を提供します。				
◆令和5年度振返り-取組実績(DO)					
令和5年度取組実績					
<p>子どもの発達に関わる知識の普及・啓発、理解促進のため、市民向け講演会や保護者講習会を開催した。</p> <p>1 市民講演会 (1) 開催回数 1回 (2) 参加人数 72人</p> <p>2 保護者講習会 (1) 開催回数 2回 (2) 参加人数 10人</p>					
◆令和5年度振返り-評価(CHECK)					
指標でみる達成状況					
評価指標	基準値	令和4年度	令和5年度	目標値	
今後も調布に住み続けたい理由として、調布のまちの魅力や個性・特色が「子育て環境が良い」と感じている市民の割合	11.6%	13.0%	10.4%	20.0%	
基本目標及び主要課題達成に向けての総合評価(取組実績及び評価指標)					
評価	A	評価理由	子育てを行う市民に対し、子どもの発達に関わる知識を始めとした子育てに関する情報を提供することで、子育て家庭への支援につながられた。		
今後の方向性(課題及び取組の方向)(ACTION)					
今後の方向	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小				
今後の取組の方向	引き続き、市民向け講演会や保護者講習会を開催することで、子どもの発達に関わる知識の普及・啓発、理解促進を図り、子育て支援に関する情報を提供していく。				

基本目標2 ワーク・ライフ・バランスの実現と働く場における女性活躍の促進					
主要課題3 ワーク・ライフ・バランスの実現					
事業番号	28	事業名	子育てサービスの多様化と充実	所管課	子ども政策課
事業概要	男女ともにワーク・ライフ・バランスが実現できるようすこやかを中心とした子育て支援のほか、保育園、学童クラブ、放課後子供教室事業等での取組等により、仕事と子育ての両立を支援する子育てサービスの充実を図ります。				
◆令和5年度振返り-取組実績(DO)					
令和5年度取組実績					
調布市子ども家庭支援センターすこやかにおける一時預かり事業の実施					
<ul style="list-style-type: none"> 子どもショートステイ事業では、保護者が疾病や出産、家族の看護、冠婚葬祭などで子どもの養育ができないときに、緊急一時的に子どもを預かった。 すこやか保育事業では特に理由を問わず、保護者の必要に応じて子どもを施設で預かった。 トワイライトステイ事業では、保護者が夜間に及ぶ仕事等のため、恒常的に子どもの養育が困難な家庭について、対象家庭の子どもを施設で預かった。 					
◆令和5年度振返り-評価(CHECK)					
指標でみる達成状況					
評価指標	基準値	令和4年度	令和5年度	目標値	
今後も調布に住み続けたい理由として、調布のまちの魅力や個性・特色が「子育て環境が良い」と感じている市民の割合	11.6%	13.0%	10.4%	20.0%	
基本目標及び主要課題達成に向けての総合評価(取組実績及び評価指標)					
評価	A	評価理由	保護者のリフレッシュ時や緊急時・夜間に及ぶ就業時に施設で一時的に子どもを預かることで、保護者の負担を軽減し、ワーク・ライフ・バランスの実現の一端を担った。		
今後の方向性(課題及び取組の方向)(ACTION)					
今後の方向	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小				
今後の取組の方向	引き続き、利用者の利便性に配慮した事業運営を行っていく。様々なニーズに応えられるよう、すこやか内の一時預かり事業だけでなく、保育園等の一時預かり先についても情報提供を行う。				

基本目標2 ワーク・ライフ・バランスの実現と働く場における女性活躍の促進					
主要課題3 ワーク・ライフ・バランスの実現					
事業番号	28	事業名	子育てサービスの多様化と充実	所管課	保育課
事業概要	男女ともにワーク・ライフ・バランスが実現できるようすこやかを中心とした子育て支援のほか、保育園、学童クラブ、放課後子供教室事業等での取組等により、仕事と子育ての両立を支援する子育てサービスの充実を図ります。				
◆令和5年度振返り-取組実績(DO)					
令和5年度の実績					
<p>多様な保育施設・サービスを提供することで、子育て家庭の多様なニーズに幅広く応え、男女ともに働き続けることができるよう、子育て支援の充実を図った。</p> <p>1 保育施設の提供 認可保育園、認証保育所等</p> <p>2 多様な保育サービスの提供 延長保育事業、一時預かり、病児・病後児保育等</p>					
◆令和5年度振返り-評価(CHECK)					
指標でみる達成状況					
評価指標	基準値	令和4年度	令和5年度	目標値	
今後も調布に住み続けたい理由として、調布のまちの魅力や個性・特色が「子育て環境が良い」と感じている市民の割合	11.6%	13.0%	10.4%	20.0%	
基本目標及び主要課題達成に向けての総合評価(取組実績及び評価指標)					
評価	A	評価理由	多様な保育施設・サービスを提供することで、家庭環境の違いによる個別なニーズに幅広く応えられるようにしているため。		
今後の方向性(課題及び取組の方向)(ACTION)					
今後の方向	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小				
今後の取組の方向	引き続き、様々な家庭環境のニーズに応えられるようにするため、多様な保育サービスを提供していく。				

基本目標2 ワーク・ライフ・バランスの実現と働く場における女性活躍の促進					
主要課題3 ワーク・ライフ・バランスの実現					
事業番号	28	事業名	子育てサービスの多様化と充実	所管課	児童青少年課
事業概要	男女ともにワーク・ライフ・バランスが実現できるようすこやかを中心とした子育て支援のほか、保育園、学童クラブ、放課後子供教室事業等での取組等により、仕事と子育ての両立を支援する子育てサービスの充実を図ります。				
◆令和5年度振返り-取組実績(DO)					
令和5年度取組実績					
<p>学童クラブでは、定員を超えた児童を受け入れ、保護者が就労・療養・介護等で放課後家庭にいない小学生を対象に、家庭に代わる放課後の適切な「遊びや生活の場」を提供した。 放課後子供教室事業では、一部施設において開設時間を試行的に18時まで延長するとともに、子ども達のやりたい遊びをアンケート調査し、事業に反映させるなど内容の充実を図った。</p>					
◆令和5年度振返り-評価(CHECK)					
指標でみる達成状況					
評価指標		基準値	令和4年度	令和5年度	目標値
今後も調布に住み続けたい理由として、調布のまちの魅力や個性・特色が「子育て環境が良い」と感じている市民の割合		11.6%	13.0%	10.4%	20.0%
基本目標及び主要課題達成に向けての総合評価(取組実績及び評価指標)					
評価	A	評価理由	放課後子供教室事業あそびバ(令和5年度に「ユーフォー」から名称変更)において、開設時間の延長や子ども達のやりたい遊びのアンケート調査実施など、保護者及び利用者の更なる利便性向上や魅力向上につながったため。		
今後の方向性(課題及び取組の方向)(ACTION)					
今後の方向	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小				
今後の取組の方向	保護者が安心できる環境整備を引き続き実施する。				

基本目標2 ワーク・ライフ・バランスの実現と働く場における女性活躍の促進					
主要課題4 女性の活躍推進					
事業番号	38	事業名	女性の就職, 再就職を支援する講座等の実施	所管課	多様性社会・男女共同参画推進課
事業概要	経済的自立を目指して就職活動等を行う女性の相談に応じ, 貸付・給付金制度の周知と利用促進を図るとともに, 就労を支援する講座等を実施します。				
◆令和5年度振返り-取組実績(DO)					
令和5年度の取組実績					
<p>1 相談事業の実施 グループ相談として, 育児中の方や, 再就職を希望している方, 職場の人間関係での悩みがある方など, 働くこととこれからの私をテーマに意見交換等を行い, 働くことを考える場を提供した。</p> <p>2 女性の就労への支援 市の相談員を白百合女子大学に派遣し, 女子大学生を対象に「キャリア研究」についての出前講座を実施した。</p> <p>また, (公財)東京しごと財団と共催で, 就業にあたっての心構えやはじめの一步を踏み出すためのノウハウ等を学び働くことへの意欲喚起を図る「ミニセミナーin調布」や「しごと応援キャラバンin調布」, 女性の多様な働き方の一つとして起業という選択肢があることを啓発し起業への支援につなげる「女性のための起業セミナー」などの就労支援セミナーを実施した。</p>					
◆令和5年度振返り-評価(CHECK)					
指標でみる達成状況					
評価指標		基準値	令和4年度	令和5年度	目標値
労働セミナーや就職面接会など, 雇用・就職に向けた取組に対する市民満足度(女性のみ)		63.9%	67.9%	66.0%	70.0%
基本目標及び主要課題達成に向けての総合評価(取組実績及び評価指標)					
評価	A	評価理由	グループ相談では, 子育てや働くことなど, 同じ悩みを持つ方々が少人数で集まり話し合いを行うことで, 活発な議論が交わされ充実した内容となった。女性の就労への支援では, 就職活動や起業などにつながる支援を行うことができた。今後とも他部署や他の機関と連携しながら, 年代, ニーズに合わせた女性の就労支援を行っていく。		
今後の方向性(課題及び取組の方向)(ACTION)					
今後の方向	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小				
今後の取組の方向	今後とも他部署や他の機関と連携しながら, 年代, ニーズに合わせた女性の就労支援を行っていく。				

基本目標2 ワーク・ライフ・バランスの実現と働く場における女性活躍の促進					
主要課題4 女性の活躍推進					
事業番号	38	事業名	女性の就職, 再就職を支援する講座等の実施	所管課	産業振興課
事業概要	経済的自立を目指して就職活動等を行う女性の相談に応じ, 貸付・給付金制度の周知と利用促進を図るとともに, 就労を支援する講座等を実施します。				
◆令和5年度振返り-取組実績(DO)					
令和5年度の実績					
<p>ハローワーク府中との共催で「子育てしながら働きたい方のためのセミナー」を開催し, ビジスマナー, メイクアップ及びパソコン研修を実施した。また, 東京都産業労働局との共催により「女性向け委託訓練(5日間コース)Word・Excel基礎科」を行い, 女性の就職, 再就職を支援した。</p> <p>なお, 「調布国領しごと情報広場」のマザーズコーナーにおいては, 面接用スーツの貸出しも実施。</p>					
◆令和5年度振返り-評価(CHECK)					
指標でみる達成状況					
評価指標		基準値	令和4年度	令和5年度	目標値
労働セミナーや就職面接会など, 雇用・就職に向けた取組に対する市民満足度(女性のみ)		63.9%	67.9%	66.0%	70.0%
基本目標及び主要課題達成に向けての総合評価(取組実績及び評価指標)					
評価	A	評価理由	<p>予定どおり保育付きのセミナーが実施できたことで, 女性の就職, 再就職を支援することができた。</p> <p>また, 「調布国領しごと情報広場」のマザーズコーナーで実施した面接用スーツの貸出しを行い, 採用に結び付けている。</p>		
今後の方向性(課題及び取組の方向)(ACTION)					
今後の方向	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小				
今後の取組の方向	引き続き, ハローワーク府中「調布国領しごと情報広場」のマザーズコーナーをはじめとする関係機関と連携して女性の就労を支援する講座等を実施していく。				

基本目標2 ワーク・ライフ・バランスの実現と働く場における女性活躍の促進					
主要課題4 女性の活躍推進					
事業番号	38	事業名	女性の就職, 再就職を支援する講座等の実施	所管課	子ども家庭課
事業概要	経済的自立を目指して就職活動等を行う女性の相談に応じ, 貸付・給付金制度の周知と利用促進を図るとともに, 就労を支援する講座等を実施します。				
◆令和5年度振返り-取組実績(DO)					
令和5年度の実績					
<ul style="list-style-type: none"> ・ 母子・父子就労支援専門員が児童扶養手当受給者等のひとり親家庭の親等に対し, ハローワークと連携し個々の状況に応じた就労支援を行った。児童扶養手当現況届提出期間に就労についてのワークショップを行った。 ・ 就労相談 計1,147件 就職数36人 					
◆令和5年度振返り-評価(CHECK)					
指標でみる達成状況					
評価指標	基準値	令和4年度	令和5年度	目標値	
労働セミナーや就職面接会など, 雇用・就職に向けた取組に対する市民満足度(女性のみ)	63.9%	67.9%	66.0%	70.0%	
基本目標及び主要課題達成に向けての総合評価(取組実績及び評価指標)					
評価	A	評価理由	母子・父子自立支援員による状況に応じた相談・支援や, 就労支援専門員による就労サポートにより, ひとり親家庭の就業, 増収, 自立に結び付けることができた。		
今後の方向性(課題及び取組の方向)(ACTION)					
今後の方向	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小				
今後の取組の方向	児童扶養手当受給者等のひとり親家庭の親等に対し, 母子・父子就労支援専門員が市内ハローワークと連携し, 個々の状況に応じた就労支援及び経済的安定のための資格取得に関する情報提供等をきめ細かく行っていく。				

基本目標2 ワーク・ライフ・バランスの実現と働く場における女性活躍の促進					
主要課題4 女性の活躍推進					
事業番号	39	事業名	女性の起業・創業への支援	所管課	多様性社会・男女共同参画推進課
事業概要	起業・創業を希望する女性に対し、起業支援セミナーや専門相談員による相談等を実施します。				
◆令和5年度振返り-取組実績(DO)					
令和5年度取組実績					
<p>1 相談事業の実施 これから働き始めたい人や既に働いている人の、働くことに関わる悩みの解決に向けて「女性のための仕事&生活サポート相談」を実施した。</p> <p>2 女性のための起業セミナーの実施 「起業」という働き方を思い描いている女性を対象に、先輩経営者の講師が起業を考えたいきっかけから実際の起業に至るまでの経緯等を伝えるセミナーを実施した。</p>					
◆令和5年度振返り-評価(CHECK)					
指標でみる達成状況					
評価指標	基準値	令和4年度	令和5年度	目標値	
労働セミナーや就職面接会など、雇用・就職に向けた取組に対する市民満足度(女性のみ)	63.9%	67.9%	66.0%	70.0%	
基本目標及び主要課題達成に向けての総合評価(取組実績及び評価指標)					
評価	A	評価理由	<p>相談事業では、就職活動、転職希望、適職探しなど、仕事に関する相談を受け、悩み解決につなげた。</p> <p>女性のための起業セミナーでは、昨年度よりも参加者数が増加するとともに、実際に起業した経営者の具体的な体験談等をお話いただき、企業に関心もある参加者からは役に立つ内容だったと大変好評であり、起業への意識啓発に寄与することができた。</p>		
今後の方向性(課題及び取組の方向)(ACTION)					
今後の方向	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小				
今後の取組の方向	今後とも女性が多様な生き方を選択できるよう相談事業や女性のための起業セミナー等を開催していく。				

基本目標2 ワーク・ライフ・バランスの実現と働く場における女性活躍の促進					
主要課題4 女性の活躍推進					
事業番号	39	事業名	女性の起業・創業への支援	所管課	産業推進課
事業概要	起業・創業を希望する女性に対し、起業支援セミナーや専門相談員による相談等を実施します。				
◆令和5年度振返り-取組実績(DO)					
令和5年度の実績					
経営アドバイザー(中小企業診断士)による女性起業相談会を実施したほか、関係機関と連携した「女性のための起業セミナー」を実施した。					
◆令和5年度振返り-評価(CHECK)					
指標でみる達成状況					
評価指標	基準値	令和4年度	令和5年度	目標値	
労働セミナーや就職面接会など、雇用・就職に向けた取組に対する市民満足度(女性のみ)	63.9%	67.9%	66.0%	70.0%	
基本目標及び主要課題達成に向けての総合評価(取組実績及び評価指標)					
評価	A	評価理由	女性起業相談会及び「女性のための起業セミナー」は、ともに好評である。とりわけ、女性の経営アドバイザーが担当する女性起業相談会は、起業・創業を躊躇していた女性が自身の気持ちを整理する機会になっている。		
今後の方向性(課題及び取組の方向)(ACTION)					
今後の方向	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮小		
今後の取組の方向	毎月の女性起業相談会を継続するほか、多様な講師による「女性のための起業セミナー」を企画していく。				

基本目標3 あらゆる分野・活動における男女共同参画の推進

だれもが心を通わせ合いながら、家庭生活や地域、学校教育の場など、社会のさまざまな活動に参加し、安心して生活できる環境づくりを推進します。

■主要課題5 あらゆる分野・活動における男女共同参画の推進

成長過程における男女共同参画意識を育む男女平等教育を推進するとともに、家庭や地域活動、防災分野における男女共同参画の推進、あらゆる世代に向けた学習機会確保と情報提供

■主要課題6 生活上の困難に対する支援

さまざまな生活上の困難に対する支援や相談について、関係機関や各団体等との連携により、男女共同参画の視点に立った安心して暮らせる環境づくり

1 基本目標を達成するための評価指標の推移

主要課題	評価指標	基準値 (プラン策定時)	令和 4年度	令和 5年度	目標値	事業番号
5 あらゆる分野・活動における男女共同参画の推進	学校、家庭、地域それぞれの場において男女平等と感じている市民の割合	【学校】	【学校】	【学校】	【学校】	40
		60.7%	66.1%	66.6%	70.0%	42
		【家庭】	【家庭】	【家庭】	【家庭】	46
		37.8%	40.0%	37.9%	50.0%	47
		【地域】	【地域】	【地域】	【地域】	
		50.7%	53.2%	52.8%	60.0%	
6 生活上の困難に対する支援	ひとり親家庭への生活・経済面の支援の市民満足度	64.6%	66.0%	64.7%	70.0%	11
						13

2 指標を達成するための重点事業評価

事業番号	重点事業名	担当課	評価
40	教職員への的確な研修の実施	指導室	A
42	家庭における男女共同参画の促進	健康推進課	A
		社会教育課	A
46	地域コミュニティにおける男女共同参画の促進	協働推進課	A
47	男女共同参画の意識をもった人材の育成	総合防災安全課	A
		多様性社会・男女共同参画推進課	A
		教育総務課	A
11	女性のための相談事業の充実	多様性社会・男女共同参画推進課	A
13	ひとり親家庭への支援の実施	子ども家庭課	A

3 令和5年度における基本目標3に関する総括

○主要課題5【あらゆる分野・活動における男女共同参画の推進】

基本目標3に関する評価指標のうち「学校、家庭、地域それぞれの場において男女平等と感じている市民の割合」は、令和4年度から、学校にあっては0.5ポイント上昇、家庭にあっては2.1ポイント低下、地域にあっては0.4ポイント低下しました。

令和4年度の評価において、主要課題5に係る重点事業の全ての所管課は、各事業の今後の方向性を「継続」としました。また、各所管課は、今回の報告において、学校の教育活動全体を通じた人権教育や男女共同参画推進に向けた研修〔指導室〕、育児における夫婦協力の必要性に関する情報提供〔健康推進課〕、地区協議会での男女双方の視点を取り入れた意識共有・交流〔協働推進課〕、女性の視点で考える体験型防災講座〔多様性社会・男女共同参画推進課〕などを実施し、全ての所管課が「A(予定した成果が得られた)」と評価しています。

これらから、各所管課において、前年度から引き続き取組を推進した一方、評価指標が上記の結果になったことについては、コロナ禍を経て社会が日常を取り戻す中で、働き方とともに家庭内の家事・育児等の分担もコロナ禍前に戻りつつある現在の状況が、割合に作用している可能性があります。さらに、評価指標を年齢層別に見ると、年齢が上がるにつれ「(どちらかといえば)男性が優遇されている」の割合が上昇する傾向にあるうえ、市民意識調査の回答者が50歳代以上が多いことも、影響していると思われます。

全ての所管課は、各事業の今後の方向性を「継続」としています。評価指標の結果を踏まえ、現在の取組を継続しながら、学校、家庭、地域等あらゆる場において、男性・女性の視点を持ち、男女共同参画意識の啓発につながる更なる取組を推進する必要があります。

○主要課題6【生活上の困難に対する支援】

次に、基本目標3に関する評価指標のうち「ひとり親家庭への生活・経済面の支援の市民満足度」について、令和4年度から1.3ポイント低下しました。

令和4年度の評価において、主要課題6に係る重点事業の全ての所管課は、各事業の今後の方向性を「継続」としました。また、各所管課は、今回の報告において、女性の就労や多様な生き方の実現に資する女性のための相談事業や、同じ悩みを持つ方同士が意見交換できるグループ相談〔多様性社会・男女共同参画推進課〕、母子・父子自立支援員による相談・支援や、生活上の困難を抱えるひとり親家庭へのホームヘルパー派遣〔子ども家庭課〕などを実施し、全ての所管課が「A(予定した成果が得られた)」と評価しています。

これらから、各所管課において、前年度から引き続き、生活上の困難に対する支援や相談を実施した一方、評価指標が低下したことについては、コロナ禍に実施されたひとり親家庭等への給付金等の廃止や物価高騰による家計への影響があると推察されます。

目標達成に向け、引き続き、支援・相談事業の周知等情報発信に努め、さまざまな生活上の困難を抱える方々に必要な支援が行き届くよう取組を推進する必要があります。

総合評価	【評価基準】
A	S:「実施した取組において顕著な成果が得られた」
	A:「実施した取組において予定した成果が得られた」
	B:「実施した取組において一定程度の成果が得られた」
	C:「実施した取組において予定した成果が得られなかった」
	D:「実施した取組において成果が得られなかった」

基本目標3 あらゆる分野・活動における男女共同参画の推進					
主要課題5 あらゆる分野・活動における男女共同参画の推進					
事業番号	40	事業名	教職員への的確な研修の実施	所管課	指導室
事業概要	固定的な男女役割分担意識にとらわれず、男女平等の意識をもって子どもへの指導に当たることができるよう、教職員に対し、経験年数や職に応じた研修を実施します。				
◆令和5年度振返り-取組実績(DO)					
令和5年度取組実績					
1 人権教育の充実 学校において、教育活動全体を通じて組織的・計画的に人権教育を推進した。また、人権教育推進委員会において、男女共同参画の推進に向けた研修を実施した。 2 教職員による不適切な指導及び体罰の防止への啓発 児童・生徒への指導について、児童・生徒への理解を軸とした指導に当たれるよう、校長会や副校長会を通じて指導することができた。					
◆令和5年度振返り-評価(CHECK)					
指標でみる達成状況					
評価指標		基準値	令和4年度	令和5年度	目標値
学校、家庭、地域それぞれの場において男女平等と感じている市民の割合		【学校】60.7% 【家庭】37.8% 【地域】50.7%	【学校】66.1% 【家庭】40.0% 【地域】53.2%	【学校】66.6% 【家庭】37.9% 【地域】52.8%	【学校】70.0% 【家庭】50.0% 【地域】60.0%
基本目標及び主要課題達成に向けての総合評価(取組実績及び評価指標)					
評価	A	評価理由	校長会や副校長会、4級職研修、若手教員研修等で必要な情報を伝達することで、校内における人権意識の醸成につなげることができた。また、人権教育推進委員会、生活指導主任会等の充実を図り、教職員の資質・能力の向上につながった。		
今後の方向性(課題及び取組の方向)(ACTION)					
今後の方向	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小				
今後の取組の方向	学校における人権教育の充実に向け、学校に関わる全ての教職員への研修等の充実を図り、男女共同参画の推進に向けた取組を実施する。				

基本目標3 あらゆる分野・活動における男女共同参画の推進					
主要課題5 あらゆる分野・活動における男女共同参画の推進					
事業番号	42	事業名	家庭における男女共同参画の促進	所管課	健康推進課
事業概要	社会教育情報紙や、父母・これから子育てを始める方を対象とした講座、市立小・中学校PTA主催の家庭教育セミナー等を通じて、家庭や地域における男女共同参画意識の啓発につながる情報を提供します。				
◆令和5年度振返り-取組実績(DO)					
令和5年度取組実績					
ゆりかご調布やもうすぐママパパ教室(母親学級)、赤ちゃん訪問等において、パートナーの状況を確認しながら、母親の産後の身体の変化と育児における夫婦の協力の必要性について情報提供した。					
◆令和5年度振返り-評価(CHECK)					
指標でみる達成状況					
評価指標	基準値	令和4年度	令和5年度	目標値	
学校、家庭、地域それぞれの場において男女平等と感じている市民の割合	【学校】60.7% 【家庭】37.8% 【地域】50.7%	【学校】66.1% 【家庭】40.0% 【地域】53.2%	【学校】66.6% 【家庭】37.9% 【地域】52.8%	【学校】70.0% 【家庭】50.0% 【地域】60.0%	
基本目標及び主要課題達成に向けての総合評価(取組実績及び評価指標)					
評価	A	評価理由	妊娠期から子育てへの父親の育児参加の意識が高くなることから、具体的な協力の方法を伝えることを意識して実施している。		
今後の方向性(課題及び取組の方向)(ACTION)					
今後の方向	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小				
今後の取組の方向	引き続き、家事や子育てに男性が積極的に参加できるよう、妊娠期から具体的に伝えていく。				

基本目標3 あらゆる分野・活動における男女共同参画の推進					
主要課題5 あらゆる分野・活動における男女共同参画の推進					
事業番号	42	事業名	家庭における男女共同参画の促進	所管課	社会教育課
事業概要	社会教育情報紙や、父母・これから子育てを始める方を対象とした講座、市立小・中学校PTA主催の家庭教育セミナー等を通じて、家庭や地域における男女共同参画意識の啓発につながる情報を提供します。				
◆令和5年度振返り-取組実績(DO)					
令和5年度取組実績					
<p>社会教育情報紙「コラボ」を年3回発行し、市内小・中学校や市施設に配布するとともに、市ホームページに掲載するなど、社会教育・家庭教育に関する情報提供に努めた。 【発行部数】各号19,200部</p> <p>市立小・中学校PTAの企画、運営による「家庭教育セミナー」について、情報提供や積極的な事業実施を働きかけ、多様化する社会問題に対応した家庭教育支援を図った。講師謝礼及び手話通訳委託料を助成した。オンライン及び会場とオンライン併用による開催も可とした。 【実施校】調布市立小・中学校 4校 【参加者数】148人</p>					
◆令和5年度振返り-評価(CHECK)					
指標でみる達成状況					
評価指標		基準値	令和4年度	令和5年度	目標値
学校、家庭、地域それぞれの場において男女平等と感じている市民の割合		【学校】60.7% 【家庭】37.8% 【地域】50.7%	【学校】66.1% 【家庭】40.0% 【地域】53.2%	【学校】66.6% 【家庭】37.9% 【地域】52.8%	【学校】70.0% 【家庭】50.0% 【地域】60.0%
基本目標及び主要課題達成に向けての総合評価(取組実績及び評価指標)					
評価	A	評価理由	<p>【社会教育情報紙】 家庭教育についてのコラム等の掲載により、現代的な課題について情報提供できた。</p> <p>【家庭教育セミナー】 参加対象者を、開催校の保護者以外にも広げ、学習機会の拡大を図った。開催方法についても引き続き主催者であるPTAが選択できるようにした。</p>		
今後の方向性(課題及び取組の方向)(ACTION)					
今後の方向	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小				
今後の取組の方向	<p>【社会教育情報紙】 引き続き、家庭教育についてのコラム等の掲載を通して情報提供をしていく。</p> <p>【家庭教育セミナー】 引き続き、開催テーマや内容について、助言や情報提供を行うとともに、オンラインを活用した事業実施について支援する。</p>				

基本目標3 あらゆる分野・活動における男女共同参画の推進					
主要課題5 あらゆる分野・活動における男女共同参画の推進					
事業番号	46	事業名	地域コミュニティにおける男女共同参画の促進	所管課	協働推進課
事業概要	男女がともに参画し、協力して地域のさまざまな活動を支えていくため、自治会・地区協議会等に女性の参画推進を働きかけます。				
◆令和5年度振返り-取組実績(DO)					
令和5年度取組実績					
<ul style="list-style-type: none"> ・ 地区協議会の各種会議において、男女ともに地域の課題解決に努めるとともに、市民に地域活動への参加を呼びかけた。 ・ 現在、地区協議会の代表者のうち5人(18地区中)の女性が就くなど、女性参画が行われている。 ・ 地域活動情報紙「じよいなす」及び地域コミュニティサイト「ちよみっと」にて、自治会・地区協議会等、地域コミュニティの活動を紹介し、世代・性別問わず様々な市民に、地域コミュニティへの参画を促した。 					
◆令和5年度振返り-評価(CHECK)					
指標でみる達成状況					
評価指標	基準値	令和4年度	令和5年度	目標値	
学校、家庭、地域それぞれの場において男女平等と感じている市民の割合	【学校】60.7% 【家庭】37.8% 【地域】50.7%	【学校】66.1% 【家庭】40.0% 【地域】53.2%	【学校】66.6% 【家庭】37.9% 【地域】52.8%	【学校】70.0% 【家庭】50.0% 【地域】60.0%	
基本目標及び主要課題達成に向けての総合評価(取組実績及び評価指標)					
評価	A	評価理由	男女の区別なく、市民が、行政・地域のまちづくりに参加できる環境づくりに努めることができた。 また、地区協議会において男女双方の視点を取り入れながら意識共有、交流を図ることができた。その結果が、女性が代表へ就任するといった、女性の参画推進につながり、評価指標の目標値に近づけることができた。		
今後の方向性(課題及び取組の方向)(ACTION)					
今後の方向	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小				
今後の取組の方向	これまでの取組を継続し、今後も男女双方の意見を取り入れながら、地域の課題解決に努める。				

基本目標3 あらゆる分野・活動における男女共同参画の推進					
主要課題5 あらゆる分野・活動における男女共同参画の推進					
事業番号	47	事業名	男女共同参画の意識をもった人材の育成	所管課	総合防災安全課
事業概要	男性女性それぞれの視点を踏まえた避難所運営等がなされるよう防災訓練や研修、講座等で周知を図ります。				
◆令和5年度振返り-取組実績(DO)					
令和5年度取組実績					
<p>「令和5年度調布市防災教育の日」において、市職員と地域の方々が協働で避難所開設訓練を実施した。訓練のなかで、避難者の導線や避難場所を定めた避難所利用計画に関して意見交換を行った。</p>					
◆令和5年度振返り-評価(CHECK)					
指標でみる達成状況					
評価指標	基準値	令和4年度	令和5年度	目標値	
学校、家庭、地域それぞれの場において男女平等と感じている市民の割合	【学校】60.7% 【家庭】37.8% 【地域】50.7%	【学校】66.1% 【家庭】40.0% 【地域】53.2%	【学校】66.6% 【家庭】37.9% 【地域】52.8%	【学校】70.0% 【家庭】50.0% 【地域】60.0%	
基本目標及び主要課題達成に向けての総合評価(取組実績及び評価指標)					
評価	A	評価理由	<p>新型コロナウイルス感染症への対応として縮小実施となっていた訓練について、従前どおり地域からの市民参加を依頼し実施し、避難者の導線や避難場所を定めた避難所利用計画に関して意見交換を行うことができた。</p> <p>また、市職員や地域住民が男女問わずに訓練に参加するとともに、今年度初めて避難所体験を小中学生及び保護者が参加し、避難所運営時の多様な視点の再検証の必要性を確認した。</p>		
今後の方向性(課題及び取組の方向)(ACTION)					
今後の方向	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小				
今後の取組の方向	<p>現在は、避難所や福祉避難所の開設に関する訓練を実施しているところであるが、今後、習熟度が高まってきた際には、避難所運営に関する訓練の検討を行っていく。避難所開設キットの導入を予定していることから、災害時だれが開設しても安全に配慮の視点に留意した避難所開設ができるよう推進する。</p>				

基本目標3 あらゆる分野・活動における男女共同参画の推進					
主要課題5 あらゆる分野・活動における男女共同参画の推進					
事業番号	47	事業名	男女共同参画の意識をもった人材の育成	所管課	多様性社会・男女共同参画推進課
事業概要	男性女性それぞれの視点を踏まえた避難所運営等がなされるよう防災訓練や研修、講座等で周知を図ります。				
◆令和5年度振返り-取組実績(DO)					
令和5年度取組実績					
男性主体の防災対策から、女性目線による防災への備え方を中心にした「女性の視点で考える体験型防災講座」として実践型の講座を実施した。					
◆令和5年度振返り-評価(CHECK)					
指標でみる達成状況					
評価指標		基準値	令和4年度	令和5年度	目標値
学校、家庭、地域それぞれの場において男女平等と感じている市民の割合		【学校】60.7% 【家庭】37.8% 【地域】50.7%	【学校】66.1% 【家庭】40.0% 【地域】53.2%	【学校】66.6% 【家庭】37.9% 【地域】52.8%	【学校】70.0% 【家庭】50.0% 【地域】60.0%
基本目標及び主要課題達成に向けての総合評価(取組実績及び評価指標)					
評価	A	評価理由	女性の視点で災害を考える講座を実施することで、防災について当事者意識の醸成を図るとともに、男女共同の視点をもって避難所運営等に当たることができる人材育成の一助とすることができた。		
今後の方向性(課題及び取組の方向)(ACTION)					
今後の方向	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小				
今後の取組の方向	男性女性それぞれの視点を踏まえた避難所運営等がなされるよう、引き続き、防災訓練や研修、講座等の実施を継続する。				

基本目標3 あらゆる分野・活動における男女共同参画の推進					
主要課題5 あらゆる分野・活動における男女共同参画の推進					
事業番号	47	事業名	男女共同参画の意識をもった人材の育成	所管課	教育総務課
事業概要	男性女性それぞれの視点を踏まえた避難所運営等がなされるよう防災訓練や研修、講座等で周知を図ります。				
◆令和5年度振返り-取組実績(DO)					
令和5年度取組実績					
<p>調布市では、毎年4月の第4土曜日を「調布市防災教育の日」と定め、東日本大震災を教訓として「命の尊さ」について学び、自助・共助意識を高め、災害時に必要な知識や行動様式を身につけるため、学校・保護者・地域の連携による防災教育と防災訓練を、調布市立小・中学校全28校一斉に実施している。</p> <p>令和5年度は、令和元年度以来4年ぶりに保護者による引取訓練を実施したが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、学校教育活動は、「命」の授業・防災啓発講話の公開を中止した。</p> <p>小・中学校全校及び大町スポーツ施設において実施した市統一テーマ訓練においては、訓練テーマを「感染症対策を踏まえた避難所開設訓練」と題し、令和元年台風19号の避難所開設時の課題や感染症対策を踏まえ、体育館開設方法の確認や体育館における感染症対策を踏まえた避難所の開設・受付訓練等、初動期における対応の習熟を目的に訓練を実施した。</p>					
◆令和5年度振返り-評価(CHECK)					
指標でみる達成状況					
評価指標	基準値	令和4年度	令和5年度	目標値	
学校、家庭、地域それぞれの場において男女平等と感じている市民の割合	【学校】60.7% 【家庭】37.8% 【地域】50.7%	【学校】66.1% 【家庭】40.0% 【地域】53.2%	【学校】66.6% 【家庭】37.9% 【地域】52.8%	【学校】70.0% 【家庭】50.0% 【地域】60.0%	
基本目標及び主要課題達成に向けての総合評価(取組実績及び評価指標)					
評価	A	評価理由	地域の方と市職員が男女問わず訓練に参加し、訓練についての振り返り、意見交換を行うなかで、災害時に支援が必要となる、女性や子どもの安全、プライバシーの保護、性別への配慮等の重要性を認識することができた。		
今後の方向性(課題及び取組の方向)(ACTION)					
今後の方向	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小				
今後の取組の方向	災害時に女性や子どもの安全、プライバシーの保護、性別への配慮等に留意した避難所運営ができるよう、引き続き「調布市防災教育の日」の取組のなかで、適切な避難所開設・運営について確認をする。				

基本目標3 あらゆる分野・活動における男女共同参画の推進					
主要課題6 生活上の困難に対する支援					
事業番号	11 (再)	事業名	女性のための相談事業の充実	所管課 多様性社会・男女共同参画推進課	
事業概要	男女平等・共同参画推進の視点に立ち、生活上の困難(生活面での悩み、心・健康のこと、家庭における暴力の問題、仕事の悩みや再就職など)について、相談者自身が解決の糸口を見出せるよう相談事業の充実を図ります。				
◆令和5年度振返り-取組実績(DO)					
令和5年度取組実績					
<p>1 相談事業の実施 女性の就労や相談者が多様な生き方を選択できるよう、様々な女性のための相談事業を実施した。また、グループ相談として、更年期の悩みを持つ方々がリラックスした空間で個別の悩みや不安を気軽に話し合いながら課題解決の方法をシェアできる場を提供した。</p> <p>2 相談事業の充実 女性支援事業として、相談事業のチラシを同封した生理用品を希望者に配布するとともに、女性のための相談カードを各公共施設等へ配架して、相談支援につながるよう周知を図った。</p>					
◆令和5年度振返り-評価(CHECK)					
指標でみる達成状況					
評価指標		基準値	令和4年度	令和5年度	目標値
ひとり親家庭への生活・経済面の支援の市民満足度		64.6%	66.0%	64.7%	70.0%
基本目標及び主要課題達成に向けての総合評価(取組実績及び評価指標)					
評価	A	評価理由	チラシの配布や相談カードの配架などで相談事業の周知を図った。また、心・健康、仕事、生活面での悩みなど各種相談を実施するほか、グループ相談を実施するなど様々な相談事業を実施した。夜間枠の設定や電話相談など悩みを抱える方が相談しやすいよう工夫して実施した。		
					
今後の方向性(課題及び取組の方向)(ACTION)					
今後の方向	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小				
今後の取組の方向	今後とも男女共同参画推進センター機能の更なる充実を図るとともに、各種相談事業へつなげていくための情報発信に努めていく。				

基本目標3 あらゆる分野・活動における男女共同参画の推進					
主要課題6 生活上の困難に対する支援					
事業番号	13 (再)	事業名	ひとり親家庭への支援の実施	所管課	子ども家庭課
事業概要	ひとり親の状況に応じ、自立支援に向けた情報提供、関係機関との連絡調整等のひとり親相談事業を行います。				
◆令和5年度振返り-取組実績(DO)					
令和5年度取組実績					
<ul style="list-style-type: none"> 母子・父子自立支援員が、ひとり親家庭の親等からの相談を受け、個々の状況に応じた支援を行った。相談件数 計953件 実人数256人。就労相談は昨年の934人から1,147人へ増加。 コロナ禍で実施された子育て世帯臨時特別給付金(児童一人10万円)と子育て世帯生活支援特別給付金(児童一人5万円に市独自で5万円上乘せ)が令和4年度で終了となり、コロナ後の物価高騰に対し、国給付金(児童一人5万円)の対象を拡大するとともに市独自の給付金(児童一人5万円)を支給した。 育児・家事等、生活上の困難を抱えるひとり親家庭にホームヘルパーを派遣。 ホームヘルプサービス利用 7世帯 派遣回数 248回 高校生世代までの医療費の完全無償化を開始し、ひとり親家庭を含む子育て世帯の経済的負担の軽減を図った。 					
◆令和5年度振返り-評価(CHECK)					
指標でみる達成状況					
評価指標		基準値	令和4年度	令和5年度	目標値
ひとり親家庭への生活・経済面の支援の市民満足度		64.6%	66.0%	64.7%	70.0%
基本目標及び主要課題達成に向けての総合評価(取組実績及び評価指標)					
評価	A	評価理由	子どもたちの生活環境の激変緩和のため、ホームヘルパーを派遣することで就労と育児の両立を支援し、親子ともに安心して生活できる環境を提供した。個々の状況に合わせて社会資源や様々な情報を提供することで地域で孤立せずに生活ができるよう各種事業を実施した。		
今後の方向性(課題及び取組の方向)(ACTION)					
今後の方向	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小				
今後の取組の方向	ひとり親の状況に応じ、自立に向けた情報提供、関係機関との連絡調整等のひとり親相談事業を通じて、生活上の困難を解消につなげる。令和4年度から開始した養育費確保支援事業や各種の支援制度を周知することで、ひとり親家庭が安心して生活できるよう、支援する。				

基本目標4 市役所における男女共同参画社会の実現に向けた環境づくり

モデル事業所として市役所における取組を積極的に進め、職員が自分らしくいきいきと活躍できる組織・職場づくりを推進します。

■主要課題7 市役所における推進体制の充実

市内モデル事業所として、働く場における男女共同参画の実現に向けた積極的な取組の推進

1 基本目標を達成するための評価指標の推移

主要課題	評価指標	基準値 (プラン策定時)	令和 5年度 (令和5年4月1日現在)	令和 6年度 (令和6年4月1日現在)	目標値	事業番号
7 市役所における推進体制の充実	市の審議会や委員会における女性の割合	33.4%	34.3%	30.9%	40.0%	50
	市役所における課長職以上に占める女性職員の割合	15.7%	15.5%	15.7%	22.0%以上 (調布市人材育成総合プランにて設定済)	52

2 指標を達成するための重点事業評価

事業番号	重点事業名	担当課	担当課 評価
50	市の審議会、各種委員会への女性委員の登用の推進	多様性社会・男女共同参画推進課	B
52	男女がともに働きやすい職場づくり	人事課	A

3 令和5年度における基本目標4に関する総括

○主要課題7【市役所における推進体制の充実(審議会等の女性委員の割合)】

評価指標「市の審議会や委員会における女性の割合」は、令和5年度から3.4ポイント低下しました。目標値40%は、第4次男女共同参画推進プランから継続して掲げており、これまで上昇傾向でありましたが、審議会等における女性委員の比率が低下しました。

今回の報告において、所管課〔多様性社会・男女共同参画推進課〕は、改善に向けた取組として、市の次長職がメンバーである企画会議を通じて、市民、学識委員の推薦を外部団体に依頼する際の市長メッセージの発信や、委員選出の際におけるチェックシートの運用の全庁への更なる周知を実施したものの、女性の割合の上昇にはつながりませんでした。

委員の選出に際し、専門的な知識経験又は識見を有することなど審議会等の委員として求められる適材適所の考え方を前提に、女性委員の比率を増やしていくことの意義が十分に意識されるよう、審議会等の事務局側を担う職員、とりわけ管理職を中心に、男女共同参画・女性活躍推進の意識の更なる醸成を図り、庁内外への働きかけ方を工夫するなど、効果的な取組を推進する必要があります。

また、職員を委員とする会議体にあっては、特定の職を充てているものが多く見受けられます。会議体の設置目的等を的確に捉え、委員として求められる役割を精査したうえで、当該職を充てることを当然とせず、より適した職層等を精査し、多面的な委員構成を検討する必要があります。加えて、参画した職員が、会議での発言といった意思決定過程に携わることで、職員個人のキャリア形成にも寄与することが期待されます。

○主要課題7【市役所における推進体制の充実(課長職以上の女性職員の割合)】

評価指標「市役所における課長職以上に占める女性職員の割合」は、令和5年度から、0.2ポイント上昇しました。

前年度の評価において、主要課題7に係る重点事業の所管課〔人事課〕は、意思決定過程における女性職員の参加機会の拡充、アンコンシャス・バイアス(無意識の思い込み)に捉われない人事配置や人材育成の推進、多様な人材が能力を発揮し、活躍できる職場環境づくりの推進に取り組むこととしていました。今回の報告では、これらの取組を実施し、「A(予定した成果が得られた)」と評価しています。これらから、取組の拡充の効果が、評価指標の数値に発現していると理解できます。

より一層、多様な人材が活躍できる働きやすい職場をつくるため、管理職を担う女性職員をこれまで以上に育成する必要があります。目標達成に向けては、こうした点を考慮しつつ、引き続き、「調布市人材育成総合プラン」に基づき、女性職員の活躍を促進する各種研修等による職員の育成や昇任意欲の醸成に加え、時間外勤務の縮減等職員の働き方改革に取り組むことで、性別や年齢、障害の有無等にかかわらず、誰もが能力を最大限発揮し、活躍できる職場環境づくりを推進することが期待されます。

総合評価	【評価基準】
B	S:「実施した取組において顕著な成果が得られた」
	A:「実施した取組において予定した成果が得られた」
	B:「実施した取組において一定程度の成果が得られた」
	C:「実施した取組において予定した成果が得られなかった」
	D:「実施した取組において成果が得られなかった」

基本目標4 市役所における男女共同参画社会の実現に向けた環境づくり					
主要課題7 市役所における推進体制の充実					
事業番号	52	事業名	男女がともに働きやすい職場づくり	所管課	人事課
事業概要	男性・女性がともに働きやすく、昇任意欲を向上できる職場づくりに向けた仕組みづくりに取り組みます。				
◆令和5年度振返り-取組実績(DO)					
令和5年度の実績					
<p>メンター相談制度や各種研修(「ナイスボス・グッドパートナー研修」,「女性のキャリア自律促進研修」及び「女性部下育成力強化研修」)を実施し、女性職員の活躍推進に向けた人材育成やキャリア形成に関する意識の醸成、管理職のマネジメント力の向上を図った。また、管理職・係長職を対象に、ワーク・ライフ・バランスの推進や女性職員の活躍推進の意義等についての理解を深める研修を実施することで、両立支援制度が取得しやすい職場環境を構築し、男性職員の家庭生活(家事・育児・介護)への関わりを促進した。特定事業主行動計画第八次行動計画(令和5年度～)を位置づけた調布市人材育成総合プランに基づき、多様な人材が能力を最大限に発揮し、活躍できる職場環境づくりに取り組んだ。</p>					
◆令和5年度振返り-評価(CHECK)					
指標でみる達成状況					
評価指標	基準値	令和5年度 (令和5年4月1日現在)	令和6年度 (令和6年4月1日現在)	目標値	
市役所における課長職以上に占める女性職員の割合	15.7%	15.5%	15.7%	22.0%以上 (調布市人材育成総合プランにて設定済)	
基本目標及び主要課題達成に向けての総合評価(取組実績及び評価指標)					
評価	A	評価理由	<p>○時間外縮減について、上限時間を超過した職員の部署に状況確認を行う等、要因の整理を行ったほか、対応策などについて各部と協議した。また、毎週水曜日のノー残業デーに加えて、午後7時消灯デー、管理職ゼロデイ等の定時退庁を推進する等、働き方改革による生産性の向上に資する具体的な取組を全庁で推進した結果、全庁的に時間外勤務時間数の大幅な縮減となった。</p> <p>○女性職員の活躍推進に向けて、各種取組を継続し、キャリア形成支援を進めた。人事配置の男女バランスへの配慮も継続して実施した。</p> <p>○ハラスメント防止やメンタルヘルス対策などの充実を図り、職員が安心して働き続けられる環境づくりを推進した。</p>		
今後の方向性(課題及び取組の方向)(ACTION)					
今後の方向	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小				
今後の取組の方向	<p>引き続き、「調布市人材育成総合プラン」に基づき、女性をはじめ多様な視点を市政経営に反映させ、市民サービスの向上につなげる観点から、意思決定過程における女性職員の参加機会の拡充、性別や家庭の事情などに係るアンコンシャス・バイアス(無意識の思い込み)に捉われない人事配置や人材育成を推進する。あわせて、性別や年齢、障害の有無等に関わらず、多様な人材が能力を最大限発揮し、活躍できる職場環境づくりを推進する。</p>				

